

「自転車ヘルメット着用啓発協力式」を実施

～ 静岡県警にヘルメット着用啓発ポスター500枚を寄贈・清水南高等学校で貼付広報活動 ～

日本損害保険協会中部支部静岡損保会（会長：東 秀明・東京海上日動火災保険株式会社 理事静岡支店長）では、静岡中央警察署にて「自転車ヘルメット着用啓発協力式」を開催し、その後県立清水南高等学校にてポスターの貼付広報活動を実施しました。

日時：2024年11月21日（木） 10：00～11：30

場所：静岡中央警察署交通部長室および県立清水南高等学校

今回、静岡県警で自転車利用者が多い静岡県内の高校生のヘルメット着用促進の啓発活動を実施するにあたり、静岡損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、自転車ヘルメットの着用を呼びかけるポスター500枚を作成して、静岡県警察本部交通部へ寄贈しました。

当日、啓発協力式では、東損保会長よりポスターの披露があり、「このポスターを目にした高校生がヘルメットの重要性を再認識していただくきっかけとなり、自転車に乗る際は必ずヘルメットを着用する習慣が根付くことを願っている」との挨拶がありました。

引続き加藤交通部長から、「県内の高校生のヘルメット着用率は低いため、このポスターを県内に約130校ある高等学校へ配付するとともに各警察署の庁舎内等に掲示し、高校生のヘルメット着用の促進を図り、自分の身は自分で守るという意識を高めるよう啓発活動を推進したい」との挨拶がありました。

啓発協力式終了後は、県立清水南高等学校へ場所を移し、山田校長と東損保会長が同校の掲示板にポスターを貼付する啓発活動を実施しました。山田校長から、「子供たちを守っているような親近感のあるポスターで、生徒が必ず1日に2回は通る玄関の掲示板に掲示させてもらい、ヘルメットを着用するよう定着させていきたい。」との感謝の言葉がありました。

当支部では、今後も、静岡県警ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



ポスターを寄贈する東損保会長（右）



加藤交通部長（左）と東損保会長（右）



報道機関の取材を受ける東損保会長(右)



ポスターを貼付する東損保会長(左)と山田清水南高等学校校長



ポスターの説明をする東損保会長(左)



寄贈したポスター